

地域事業活性化シート

提言作成に向けて、各グループでの検討作業に用いる資料を「地域事業活性化シート」として仮作成しました。

今後の検討は、各グループに各事業1枚ずつ配布される「地域事業活性化シート」の項目を埋めていくかたちで進めてください。なお、事業によっては埋められない項目があるかと思いますので、柔軟に対応してください。

分野	事業名	所管課
分野Ⅰ かがやくまち (防犯・生活安全)	六本木安全安心プロジェクト ～ルールー違反ゼロの六本木へ～	協働推進課
分野Ⅰ かがやくまち (防災)	「地域と事業所」防災連携プロジェクト ～更なる共助体制の構築をめざして～	協働推進課
分野Ⅰ かがやくまち (環境・エコ)	みんなでエコっとプロジェクト	まちづくり課
分野Ⅱ にぎわうまち (コミュニティ)	みんなでまちをよくする「ミナヨク」	協働推進課
分野Ⅱ にぎわうまち (多文化交流・コミュニティ)	AZABU WORLD FESTA	協働推進課
分野Ⅱ にぎわうまち (歴史・文化)	麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ麻布の記憶～	協働推進課
分野Ⅲ はぐくむまち (コミュニティ・青少年育成)	地方交流事業	管理課 協働推進課
分野Ⅲ はぐくむまち (高齢者支援)	地域サロン ～ちょこっと立ち寄りカフェ～	区民課
分野Ⅲ はぐくむまち (生涯学習・歴史・文化)	麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～	協働推進課

■分野Ⅰ かがやくまち（防犯・生活安全） 地域事業名：六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～（所管課：協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。	1	・	3	・	5
・ルール違反に対して、注意する権限を持っているわけではないので、取組に限界がある。					
事業計画は目的に沿っていますか。	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。	1	・	3	・	5
・憲章デザインを活用し、キャンペーンに着用するベストや周知のためのフラッグなどに用いている。					
事業の効果はありますか。	1	・	3	・	5
・賛同事業所は増加しているが、そのことが知られておらず、もっとアピールすべき。 ・継続していくことで効果を上げていくことが大切。					
事業の課題は何ですか。	1	・	3	・	5
・憲章デザインの効果を検証すべき。 ・効果を上げていくためには、賛同事業所へのインセンティブが必要ではないか。 ・キャンペーンなど、参加者が限定されているところがある。 ・新たな住民や事業者など、参加者のすそ野を広げていくような取り組みが必要。 ・外国人や区外からの来街者に対してどのように周知していくかが課題。 ・自転車の危険走行などにも対応していくべき。					
今後も麻布地区に必要な事業ですか。	1	・	3	・	5
・六本木という繁華街を有する麻布地区において、まちの安全・安心を保つために必要な活動と考える。 ・六本木地区に限らず、麻布地区全体に浸透させていくべき。					

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充）	・	統合	・	廃止
■事業目的や内容は良いので、さらに活動を活発にしていくような新たなコンテンツの導入を検討する。					
【評価できる点】					
・事業名称は良い。					
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】					
・憲章デザインは住民に認知されておらず、憲章デザインの効果を検証してはどうか。 ・「喫煙」「違法駐輪」「自転車走行マナー」については取組を強化すべき。 ・「ルール違反ゼロ」に近づけるため、活動を活発にするべき。 ・外国人へのルールの周知をどうしていくか。					

3. 提案

理由
・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案
■
・「喫煙」についてはエリアを定め、過料を科すべき。 （港区全体で検討すべきだが、まずは六本木地区で実証実験を行う。事例：千代田区） ・「喫煙」は規制を厳しくしていくと同時に喫煙スペースも増設する。また、設置場所をわかりやすく示すものが必要。 ・期限を決めた集中的な取組を行ってはどうか。 ・路上にルールを記したサインを設置してはどうか。
効果と課題
【期待される効果】
【想定される課題】

■分野Ⅰ かがやくまち（防災） 地域事業名：「地域と事業所」防災連携プロジェクト ～更なる共助体制の構築をめざして～

（所管課：協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。 ・麻布地区の防災として何をやるべきか。	1	・	3	・	5
事業計画は目的に沿っていますか。	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・ネットワークを小規模化し、モデル地区を設定した。	1	・	3	・	5
事業の効果はありますか。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・知らない人が多い。関心のないところへいかに周知していくか。 ・「地域」の対象がわかりにくい。 ・事業所をどのように参加させるかが課題。 ・どういった事業所を対象にしていくかの事業所への周知の基準がこれまでなかった。 ・リアリティを持って参加できない、現実味がない。 ・平面だけでなく、マンション防災など立体で考える視点が必要だ。港区は共同住宅が8割と多い。 ・商店会や町会への不信があり、若い人は活動への参加を敬遠している。	1	・	3	・	5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・そもそも事業所の防災を地域事業でやるべきか。	1	・	3	・	5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充）	・	統合	・	廃止
■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入） ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等					
【評価できる点】					
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】					

3. 提案

理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案 ■ ・防災活動への啓発は根気よく継続していくしかない。 ・参加する事業所へインセンティブを与えていく。 ・小規模事業所（個人事業所）をいかに参加させる仕組みを作るか。 ・帰宅困難者に対して何が出来るか。 ・新しく区へ転入する人に対して、転入時講習を行う。（テーマは防災、ごみ、喫煙、自転車マナーなど）
効果と課題 【期待される効果】
【想定される課題】

■分野Ⅰ かがやくまち（環境・エコ） 地域事業名：みんなでエコっとプロジェクト

（所管課：まちづくり課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。	1	・	3	・	5
事業計画は目的に沿っていますか。	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・実施回数を年3回から6回に増やした。	1	・	3	・	5
事業の効果はありますか。 ・実施回数を増加したことにより参加者数は増えている。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・参加者の満足度を上げる取組み ・マンネリ化を防ぐ取組み ・学校教育との関係性はどうか。	1	・	3	・	5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・参加者は麻布地区に限っていないが、問題ないか。	1	・	3	・	5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充）	・	統合	・	廃止
■事業内容や目的は良く、参加者の満足度も高いため、さらに発展させていくため、参加対象や事業者との連携を検討するような改善を行う。					
【評価できる点】 ・参加人数も増加し、参加者の満足度は高いと思われる。					
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】 ・六本木の美化活動に関する取組みを検討してはどうか。 ・地域の事業者と連携した取組みを検討してはどうか。 ・事業名称に「みんな」とあるので、地域住民や企業の参加も検討してはどうか。					

3. 提案

理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案 ■ ・清掃活動に親子で参加できるような機会を作ってはどうか。 ・取組参加を表彰する仕組みを検討してはどうか。
効果と課題 【期待される効果】
【想定される課題】

■分野Ⅱ にぎわうまち（コミュニティ） 地域事業名：みんなでまちをよくする「ミナヨク」

（所管課：協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。	①	・	3	・	5
・「次世代のコミュニティリーダー」というのが具体的になんなのかが不明瞭。 →町会・自治会等で活躍できる人、地域で自主的なコミュニティ活動ができる人、					
事業計画は目的に沿っていますか。	①	・	3	・	5
・コミュニティリーダーを育成するという点に対して、講座への参加が1年（7回程度）と限定されている点については見直しが必要ではないか。					
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。	①	・	3	・	5
・修了生の地域とのつながりづくりについてのフォローが足りていない。 →目的に応じて、フォローアップのかたちも変わるので、まず「目的」を明確にする必要がある。					
事業の効果はありますか。	①	・	3	・	5
・修了生が実際に地域で活躍しているのかの調査が必要。 ・講座で提案されたアイデアのうち、どの程度が実際に行われているのか等の検証が必要。 ・費用対効果についても検証が必要。					
事業の課題は何ですか。	1	・	3	・	5
・地域で活躍する人材の育成という点で、「あざぶ達人ラボ」と似ている点がある。 ・目的に応じて講座への参加方法や20代から40代という枠については検討が必要。 ・その他、事業の目的の明確化や目的にあったプログラムの再検討が必要。					
麻布地区にふさわしい事業ですか。	1	・	3	・	⑤
・町会・自治会等の活動を継承していく人材が不足している点、また、多くの企業が立地するなかで、企業との協働連携により地域コミュニティの活性化を図れる点について、麻布地区にふさわしい事業と言える。					

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充）	・	統合	・	廃止
■課題等についての改善が必要					
【評価できる点】					
・「ミナヨク」とおして、地域にはいっていききっかけがつかれるという点は評価できるので、事業としては継続していく方向でいいのではないか。					
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】					
・目的に応じて、講座への参加方法（1回限りの参加ではなく、継続して参加できる等）を見直す必要がある。 ・他の事業でも言えることだが、広報にあたってのちらし配布やポスター掲示について、ただただ多くばらまくのではなく、事業の目的に応じて配布数や配布場所等を考えていくべき。					

3. 提案

理由
・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案
■事業の目的を明確にする
・「コミュニティリーダー」の育成（コミュニティリーダーがなんなのかを明確にする） ・「リーダー」の育成というハードルの高さを改善（サポーターの育成）
■プログラムの再構築
・目的にあったプログラムの検討（継続参加、町会・自治会との関係構築など・・・） →リーダー養成：1年間ではなく継続した講座が必要 →サポーター育成：毎年決まっている地域のイベントをフィールドに講座を設定 具体的な目標を定めたプログラムによりコミュニティサポーターを育成 町会・自治会のイベント等にあわせて活動を実施、実際に地域のイベントに参加する ・地域とのつながり構築のための手法の検討
■広報・周知、PRについての考え方
・「ミナヨク」の目的に合う人材がどこにいるのかを考えて募集にかかる広報活動をしていく →対象者の属性、対象者がどこにいるのかをまずは検討 リーダーになりそうな人がいる場所が不明 対象者は、①20～30代で特定のコミュニティに属していない単身者 ②20～30代で・・・子どもがいる・・・等、 →支所や区有施設への無駄な配架が多いかもしれない →町会・自治会経由での配布：マンション・自治会によっては全く機能しない →掲示板は気が付けば誰でも見るので比較的有効 →全児童配布（学校を通じて、ちらしが親に行きわたるようにすること）の効果は目的による
効果と課題
【期待される効果】
【想定される課題】

■分野Ⅱ にぎわうまち（多文化交流・コミュニティ） 地域事業名：AZABU WORLD FESTA

（所管課：協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。	1	・	3	・	5
・前回見直しで、2つの事業を統合して構築したため目的がいまいちはっきりしていない。 ・「AZABU WORLD FESTA」という名称と内容があっていない。					
事業計画は目的に沿っていますか。	1	・	3	・	5
・事業実施から2年目ということで、評価しがたい。					
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。	1	・	3	・	5
・支所で実施しているイベントは単発のものが多く、参加機会がなかなか得られないので、一定期間継続したイベントを実施するという点では反映されている。 ・詳細な内容等については、反映しているとは言えない。					
事業の効果はありますか。	1	・	3	・	5
・現状では評価できない。					
事業の課題は何ですか。	1	・	3	・	5
・外国人等を含む、これまで地域とのふれあいがなかった人の参加ができているのか分からない。 ・商店街等の協力のもと実施しているスタンプラリーについて、商店街等のメリット・デメリットをしっかりと把握する必要がある。 ・その他、課題はいろいろとある。					
今後も麻布地区に必要な事業ですか。	1	・	3	・	5
・港区ワールドフェスティバル等、支援部で実施しているイベントとネーミング的にも違いが分からない。					

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充）	・	統合	・	廃止
■事業の手法や目的、事業名称も含め、内容の再構築をすべきではないか。					
【評価できる点】					
・場所や日程を限定せずにイベントを構築するという点は前回提言内容に合致している。					
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】					
・一部内容が地方交流事業で実施すべき内容になっているので、切り離すべき。 ・事業実施から2年目ということで、事業内容についてもしっかりとしたかたちできていない。今後、事業内容も含め検討が必要ではないか。 ・周遊型のイベントにこだわらず検討してもいいのではないか。					

3. 提案

理由
・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案
■多文化等のキーワードを残しつつ、麻布地区の地域事業を横断的につなぐイベントへの再構築
・麻布の祭りのようなイベントに再構築 →日本文化と海外文化 → ・地域事業の課題を解決できるイベントにする →「ミナヨク」修了生によるアイデア実施の場、ボランティア・サポーターとしての参加 →「麻布未来写真館」の活動成果の新たな発表の場 →その他事業の成果発表 ・地域に関係する様々な人が参加できるイベントにする →東洋英和女学院との連携
効果と課題
【期待される効果】
【想定される課題】

■分野Ⅱ にぎわうまち（歴史・文化） 地域事業名：麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ麻布の記憶～

（所管課：協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。 ・おおよそ理解できる。	1 ・ 3 ・ 5
事業計画は目的に沿っていますか。 ・おおよそなっている。	1 ・ 3 ・ 5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・新たな取組としてARを活用した発信等は実施。 ・これまで作成したパネル等成果物の活用については、新たなアイデア等が必要。	1 ・ 3 ・ 5
事業の効果はありますか。 ・	1 ・ 3 ・ 5
事業の課題は何ですか。 ・これまで作成したパネル等の成果物の活用。 ・古い写真が集まらない。	1 ・ 3 ・ 5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・これまで継続して麻布地区の古い写真の収集や現在の記録を行ってきた。今後も継続していくべき事業であるが、全庁的に写真等のアーカイブ化が進んでおり、また、他地区でも同様の地域事業が実施されている。	1 ・ 3 ・ 5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充） ・ 統合 ・ 廃止
■課題等についての改善が必要	
【評価できる点】 ・麻布地区に関する写真等の資料を収集・保存していくことで継続して事業を実施している。 ・収集した資料をもとにパネル展の開催を積極的に行っている。	
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】 ・作成しているパネルは、主に古い写真と新しい写真の比較で構成されている。新しい写真、麻布の「今」を撮りためていくこととあわせて、古い写真の収集に力を入れていく必要がある。 ・作成したパネルについては、現状、区や区の関係施設等での常設展示、限られた場所での企画展示での活用にとどまっている。今後は企業への貸出し等も検討する必要がある。 ・収集した資料（写真）や作成したパネルのデジタル化とあわせて、誰でも活用できる工夫が必要。	

3. 提案

理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案 ■パネル+ガイド ・地区内のガイドが、麻布未来写真館で作成したパネルや古い写真等を活用できる方策を検討する。 ・パネル展などにあたって、パネルの説明をするガイドを付けたほうが分かりやすい。
■これまで作成したパネルの活用 ・公共交通施設（地下鉄駅など）での展示の検討。 ・企業等への貸出しの検討。 ・地元の商店会等への貸出し。
■他の地域事業等との連携強化 ・新たに内容を構築する「AZABU WORLD FESTA」とのコラボ ・「ちょこっと立ち寄りカフェ」との連携強化（地元の高齢者から古い写真を集められるかも？） ・町会・自治会との連携（写真募集・・・）
■写真（資料）の収集と保存について ・「ちょこっと立ち寄りカフェ」や各いきいきプラザで実施しているイベントで募集。 ・地元の商店会、昔からある店舗等への直接訪問。
効果と課題 【期待される効果】 【想定される課題】

■分野Ⅲ はぐくむまち（コミュニティ・青少年育成） 地域事業名：地方交流事業

（所管課：管理課・協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。 ・麻布に必要な事業なのか。	1 ・ 3 ・ 5
事業計画は目的に沿っていますか。 ・保護者へのフィードバックも必要	1 ・ 3 ・ 5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・舟形町から港区への交流事業を実施。 （舟形町の魅力PRイベントで舟形町の中学生が港区へ。「郷土Yamagataふるさと探求コンテスト」で、最優秀賞「ふるさと探求大賞」を受賞） ・埼玉県小鹿野町との交流を開始	1 ・ 3 ・ 5
事業の効果はありますか。 ・参加者のアンケートからしっかりとフィードバックを得ることが必要。 ・保護者へのフィードバックも必要 ・舟形町からのフィードバックを。	1 ・ 3 ・ 5
事業の課題は何ですか。 ・麻布地区外の学校へ通っているとこのイベントを知らない。 ・麻布地区内の魅力を掘り起こす事も必要。 ・広報の仕方	1 ・ 3 ・ 5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・リピーターが多いのではないかと、区外の参加者がいるのではないかと指摘があったが、現在は麻布地区での公開抽選を行っており、公平性も担保されている。	1 ・ 3 ・ 5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充） ・ 統合 ・ 廃止
■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入） ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等	
【評価できる点】 ・ニーズのある事業である。	
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】 ・事業のタイトルを魅了的に。 ・事業実施後、麻布地区の参加者と舟形町の参加者で個人的なつながりが生まれると良い。	

3. 提案

理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案 ■ ・参加した児童が大人になったらボランティアに来るようなつながりを。 ・事業の目的を一本化しては。 ・前回提言書のP58「地域事業活性化事業」の実現を。 →広報の仕方のアイデアを募集してはどうか
効果と課題 【期待される効果】 【想定される課題】

■分野Ⅲ はぐくむまち（高齢者支援） 地域事業名：地域サロン ～ちよこっと立ち寄りカフェ～

(所管課：区民課)

1. 評価

事業の目的は適切ですか。 ・「場」があるというのはいい事。更なる定着を	1	3	5
事業計画は目的に沿っていますか。 ・目的を次のフェーズに。→数値目標等が必要か？	1	3	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・回数を増やした事で参加者は増えているが、依然男性参加者の割合が少ない。 ・「麻布未来写真館」や「あざぶ達人ラボ」との連携イベントを実施した。 →男性向けのコンテンツを増やした事で男性の参加者が増えている。	1	3	5
事業の効果はありますか。 ・事業者が継続的の運営をしている事で、過去の状況の蓄積ができ、「高齢者の見守り」につながっている	1	3	5
事業の課題は何ですか。 ・7割がリピーター ・男女比が1：9 →「歴史」に関わることは男性参加者が増える。図書館には男性はよく行く ・「出てこない人」へのアプローチをどうするか →「クチコミ」や、誘い方の工夫を。	1	3	5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・地区の障害児施設等と連携ができるのではないかな。	1	3	5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充）	統合	廃止
■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入） ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等			
【評価できる点】 ・（事業を見学して）とても参加者が生き生きとしていた。 ・介護予防としても有意義 ・成功事例だと思う。			
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】			

3. 提案

理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案 ■事業はうまく行っていると思うので、目的を次のフェーズへ ・成功事例だと思うので、この事業とはまた別の展開へ。 ・アクティブシニアへの新企画→新事業
・子育て世代へもアプローチを。 ・事業者のレビューの機会を設ける。 ・「企画力」と「実行力」がカギなので、「企画」を沢山考えることをしては。
効果と課題 【期待される効果】
【想定される課題】

